

※流通在庫備蓄・・・流通業者から必要資材を買い取って保管を委託し、非常時の資材不足に備える。

## 東日本大震災の経験より：(社)群馬県建設業協会の対応と抽出された問題点

### ■(社)群馬県建設業協会の対応 フロー図



東日本大震災では、燃料をはじめブルーシートや大型土のう袋等の災害応急対策資材の不足が広い範囲で発生した。(社)群馬県建設業協会では、国土交通省関東地方整備局からの要請を受け、災害応急対策資材の調達及び緊急輸送を行った。

## ➡ 災害時の応急対策を担う建設業者として、災害応急資材の一定量の備蓄が必要

### 災害への備え：流通在庫備蓄方式

#### ■流通在庫備蓄方式

- ・協会が、必要な災害応急対策資材を流通企業から買い取る。
- ・協会が買取った災害応急対策資材は、流通企業に保管を委託する。
- ・流通企業は、自らの適正在庫に協会所有の災害応急対策資材を積み増して管理する。
- ・協会は、流通企業に協会所有の資材の保管に要した費用を支払う。

#### ■メリット

- ・協会は、緊急時に必要な災害応急対策資材を迅速に入手できる。
- ・備蓄物資を流通ルートにのせて管理するため、備蓄物資が陳腐化しない。
- ・非常時の災害対策が充実され、安全安心な県土づくりに寄与する。

#### ■協定流通会社

県内の流通会社の内から、流通在庫備蓄方式に協力してもらえる企業と協議し、合意項目を明文化して協定を締結する。

(株)ヒロタ(前橋市)、小松総業(株)(高崎市)、  
(株)ホリグチ(渋川市)

#### ■当面の流通在庫備蓄量

- |                |         |
|----------------|---------|
| ①ブルーシート(2間3間)  | 2,000枚  |
| ②大型土のう袋(1tパック) | 1,000枚  |
| ③土のう袋(ハイグレード)  | 20,000枚 |

#### ■概算経費

251万円(資材購入費 237万円, 保管費・保険料 14万円)・・・当初予算を補正して対応

#### ■広域連携へ向けて

まずは栃木県、茨城県の建設業協会に連携を呼びかけ、互いの災害応急対策資材の備蓄量を高める。

## ➡ 実効ある広域連携を図り、巨大災害に対する備えを一步でも強める

